

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	82 公共施設の適正配置・多用途化の推進				重要度	A		
番号・取組事業名	82001	フレイル予防事業の充実	作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31		
担当部署	061400	保健福祉部 福祉活動推進課	責任者	成嶋 正俊	担当者	包括支援担当		
取組年度	H28	～	H32					
効果	その他改善							
最終目標	<p>介護保険法の改正により、介護予防・日常生活支援総合事業が位置づけられたため、フレイル予防事業の拡充を図る。フレイル予防事業の拠点となる市直営の介護予防センター「ほのぼのプラザますお」及び介護予防事業を委託している「いきいきプラザ」や市内9ヶ所の「地域包括支援センター」と連携し、フレイル予防事業の強化及び地域展開を図るとともに、最終目標として、要介護認定者数の抑制、介護保険給付費の削減を目指す。</p> <p>※フレイル予防：フレイル状態とは、健常な状態と要介護状態の中間の虚弱的な状態。多くの方はフレイル状態を経て要介護状態に移行するとされており、フレイル状態を早期発見、早期解決することで要介護状態への移行を減らすことができるとされている。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	実施	2ヶ所の介護予防センターにおける新規フレイル予防事業の展開、東京大学との連携によるフレイル予防事業等を推進する。また、フレイル予防を地域で推進するための担い手を育成する。						
平成29年度	実施	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
平成30年度	実施	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
平成31年度	実施	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
平成32年度	完了	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
成果指標	指標名	フレイル予防事業の利用者					単位	人
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		5,500	6,500	7,000	7,500	8,000	8,000
	変更計画値	4,500						0
効果額	歳入増加	実績値	5,829					0
		当初計画額						0
		変更計画額						0
	歳出削減	実績額						0
		当初計画額						0
		変更計画額						0
	計	実績額	0	0	0	0	0	0
		当初計画額	0	0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)	実績額	ほのぼのプラザますお及びいきいきプラザにおける新規フレイル予防事業の展開、大学連携事業展開	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	
当初計画額								

アクションプラン(平成28年度)

推進項目	82 公共施設の適正配置・多用途化の推進				重要度	A			
番号・取組事業名	82001	フレイル予防事業の充実	作成日	H28.3.1	更新日	H29.3.31			
担当部署	061400	保健福祉部 福祉活動推進課	責任者	成嶋 正俊	担当者	包括支援担当			
	区分	取組内容・目標							
平成28年度	実施	2ヶ所の介護予防センターにおける新規フレイル予防事業の展開、東京大学との連携によるフレイル予防事業等を推進する。また、フレイル予防を地域で推進するための担い手を育成する。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	いきいきプラザ及びほのぼのプラザますおにおけるフレイル予防事業等の実施			○	○	○	○		
2	いきいきプラザ及びほのぼのプラザますお事業、施設管理運営方法の検討			○	○				
3	事業運営方法、施設管理方法の見直し結果報告					○			
4	平成29年度に向けた準備					○	○		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ所の介護予防センターにおけるフレイル予防事業等については、計画どおり実施中。事業運営の要となるサポーター育成が課題であり、継続して実施していく。 ・2ヶ所の介護予防センターの事業、施設管理運営方法については、関係機関と協議していく。 					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	フレイル予防事業の利用者		計画値	単位	人	実績値	単位	人
					5,500			5,829	
	達成状況【成果】	達成	コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ所の介護予防センター、介護予防グループ支援事業、地域包括支援センター主催の介護予防教室等において、フレイルチェック講座をはじめとした新規フレイル予防事業を展開できた。今後もフレイルの周知啓発について、積極的に実施していく。 ・2ヶ所の介護予防センターでは、フレイル予防事業に関わる市民サポーターを育成。講座進行を担えるようフォローアップ研修も開催した。 ・2ヶ所の介護予防センターの事業、施設管理運営方法については、関係機関と協議していく。 					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	最終的な目標である「要介護者認定数の抑制」と「介護保険給付費の削減」を達成するために、どのようにフレイル予防事業を展開、充実していくかなど、しっかりとしたビジョンを持つことと、それらを共有して取り組み強化に努められたい。					
	方向性	取組み強化							